

勝ちに不思議の勝ちあり 負けに不思議の負け無し

校長 霜田泰徳

ようやく梅雨入りしたと思ったのに、それらしい雨模様はほんのわずか。連日の強い日差しと熱中症アラートに、一気に梅雨が明けてしまいました。そんな中、先日、生徒会役員の皆さんが、草花のある明るい雰囲気のある学校にしようと、東門の花壇に花の種をまいてくれました。雨は少なかったですが、日替わりで水やりをしてくれていたもので、毎日順調に成長しています。中でも、阿南市の花であるひまわりの成長は著しく、学校のまわりに植わっている稲以上に勢いがあります。お陰で、東門であいさつ運動をする時の楽しみがさらに一つ増えました。黄色い色鮮やかな花と一緒に、生徒たちを出迎えられる日が来ると、今からとてもワクワクします。

さて、“勝ちに不思議の勝ちあり 負けに不思議の負け無し”という言葉があります。もとは、江戸時代の大名で剣術家でもあった松浦静山という人物が遺した言葉ですが、プロ野球の選手としても監督としても大記録を残した故野村克也さんが大切にしていた言葉として広く知られるようになりました。

この言葉には、「偶然に勝つことはあっても、偶然に負けることはない。勝ちはずし自らも自らの技量が相手を上回っていたから勝てたとは限らず、相手が失敗をおかしたことによって偶然勝てたということがある。しかし負けには、その裏には必ず自分の方に何らかの負ける要因（落ち度）があるはずなのだ。」といった意味があります。勝負に対して、どんな結果であっても謙虚に向き合おうとする心構えに強く惹かれます。

先日行われた県総体ブロック予選では、自分たちが求めていたとおり県大会への出場権を手にした、あと一步のところまで県大会出場を逃してしまったり、いろいろな結果を目の当たりにしました。私も、選手たちを思い、諸手を挙げて歓喜することもあれば、敗戦の悔しさを奥歯でかみしめることもありました。

今、運動部の中には、予選を勝ち抜いて県大会、さらにその上の大会をめざして練習に励んでいる部もあります。一方では、すでに3年生が引退し、新しいチームに生まれ変わろうとしている部もあります。また、文化部の中には、コンクールといった競い合いの場が控えている部もあります。7月から8月にかけての部活動はさまざまです。

ただ、どの部の部員たちにも共通して伝えたいのは、勝ったか負けたか、うまくいったかいかかなかたかで一喜一憂するのではなく、そこから次の成長につながる何かを学びとろうとする謙虚さ・冷静さを大切にしてほしいということです。そして、二度と同じ失敗を繰り返したくないと思うなら、まずは自分（たち）がやってしまった失敗の要因を分析し、次の準備を怠らないでほしいということです。さあ、みんなで成長の夏にしましょう。

7月の行事予定

3日(日)	家庭人権学習の日
4日(月)	金曜日課・1、2年生実力テスト
6日(水)	3年生人権意見発表会⑤⑥
7日(木)	2年生人権意見発表会⑤⑥
8日(金)	月曜日課・3年生実力テスト
11日(月)	専門委員会
12日(火)	代議員会
13日(水)	1年生人権意見発表会⑤⑥
20日(水)	⑤つどい⑥学活
21日(木)	夏季休業日(～8月31日)・三者面談(21～27日)



栄光の記録 (6月24日現在)

○第36回徳島県中学校柔道体重別選手権大会

男子50kg級	準優勝	長坂 航希
男子66kg級	準優勝	中野 智允
女子40kg級	準優勝	請田 和花

○令和4年度阿南市春季ソフトテニス大会

一般男子B	3位	八田 弥頼	岡本 龍晃
-------	----	-------	-------

○第76回徳島県中学校総合体育大会南部 Bブロック

柔道	男子団体	優勝	阿南中学校 A
"	女子団体	優勝	阿南中学校 A
"	男子個人	準優勝	長坂 航希
"	女子個人グループ A	準優勝	吉岡 音和
"	女子個人グループ B	準優勝	吉谷 思唯
男子バレーボール		優勝	男子バレーボール部
女子バレーボール		準優勝	阿南・阿南第一中学校
女子卓球	卓球女子団体	優勝	女子卓球部
	卓球女子シングルス	優勝	北山 野々花
	"	第3位	山本 優奈
剣道	男子団体	準優勝	阿南中学校
"	男子個人	第3位	入江 亮太
女子バスケットボール		優勝	女子バスケットボール部

○第23回徳島県中学校選手権水泳競技大会

男子200m自由形	優勝	吉積 周作
男子100m自由型	第2位	吉積 周作
女子200m個人メドレー	優勝	山口 叶音
女子100m自由形		山口 叶音

